

北朝鮮に対する経済制裁の効果

2006年7月2日(日)

B R I C s 経済研究所 代表 門倉 貴史

E-mail: postbrics@yahoo.co.jp

～要 旨～

北朝鮮による長距離弾道ミサイル「テポドン2号」発射の懸念が強まっている。この問題は2006年6月末の日米首脳会談の主要議題にもなり、多くの時間が割かれた。実際にミサイルが発射された場合、日本は経済制裁などの圧力をかけるとみられる。日本が北朝鮮への経済制裁を発動した場合、どの程度のインパクトが期待できるのだろうか。

自民党の対北朝鮮経済制裁シミュレーションチームは、2005年2月15日、日本が独自に経済制裁を発動した場合の試算結果をまとめた。これによると、北朝鮮との貿易を全面停止すれば、北朝鮮の国内総生産(GDP)を5%から7%程度下押す効果があるという。韓国中央銀行の推計によると、北朝鮮のGDPは169億7500万ドル(2000年～2003年平均)。経済制裁によって、このうち8億ドルから11億ドルが減少する計算だ。北朝鮮のGDPに占める日朝の貿易額は、約2%程度にすぎないが、雇用への影響など間接的な影響を含めた経済波及効果はその数倍に膨らむ。

日本と北朝鮮の貿易関係をみると、2000年から2003年の平均では、年間83億円の日本側の輸入超過となっている。北朝鮮から日本への主な輸出品は、アサリやベニズワイガニなどの水産物やスーツなどの衣料品だ。一方、日本から北朝鮮への主な輸出品は、中古車となっている。北朝鮮が日本との貿易によって獲得した外貨の多くは、金正日総書記を中心とする朝鮮労働党や軍部に流れている可能性が高いといわれる。

現状では、改正外為法を発動すれば、国際連合の決議がなくても閣議決定のみで送金停止や資産凍結、輸出入規制が可能となっており、実務上は日本単独で経済制裁に踏み切ることができる。

改正外為法の発動によって貿易停止を実施した場合、とくに大きな効果が期待できるのが、アサリと衣料品である。2003年の北朝鮮から日本への輸出額は、アサリが45億円、衣料品が43億円となっている。しかし、ベニズワイガニについては、貿易を停止しても、中国など他国で缶詰加工されて日本に迂回輸出される可能性が高く、制裁効果は低いという。

もっとも、日本単独の経済制裁については、その効果について否定的な見解を示す論者も多い。たとえば、経済制裁の発動が日本国内の貿易業者に対してもマイナスの影響を及ぼす可能性があるのではないかという意見がある。また、過去に他国が行った経済制裁がいずれも失敗に終わっていることも懸念材料だ。米国はキューバに経済制裁を強化したが、キューバは過去10年間プラスの経済成長を続けている。